

平成31年度学校自己評価システムシート (県立川口工業高等学校【単位制による定時制の課程】)

目指す学校像	地域産業の発展に寄与できる、心豊かな人間の育成を図る。
--------	-----------------------------

重点目標	1 授業の工夫・改善を推進し、生徒の主体的に学ぶ力を育成する。 2 自己実現に向けた、専門教育やキャリア教育を充実させる。 3 地域と連携して、心豊かに自立して生きる力を育成する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	・生徒は学習への意欲はあるが、学習の内容に難しさを感じている。授業の工夫・改善を更に推進して、主体的に学習に取り組む生徒を育成する必要がある。	・生徒が学習に対して主体的、計画的に取り組むよう、授業の工夫改善に取り組む。	・生徒が最後まで学習を続けられるよう、授業の工夫・改善に取り組む。 ・補習や学び直しが必要な生徒への指導体制を確立する。	・学習意欲が向上した生徒の割合が増加しているか。また、授業に欠席や遅刻する生徒の割合が減少したか。 ・授業に意欲的に参加している生徒は増加したか。			
2	・生徒が、入学後のできるだけ早い時期に具体的な進路目標を持ってよう、キャリア教育の充実に向けて外部の力を活用する必要がある。	・生徒が進路希望を実現できるようキャリア教育を工夫・改善する。	・就職支援アドバイザー、学習サポーター、多文化共生指導制度などの外部の教育力を十分に活用する。	・4年生の進路決定が増加したか。 ・生徒がものづくりや専門教育の内容を活かすことのできる、進路選択をしているか。			
3	・生徒の規範意識を高めさせるとともに、安全・安心な学校生活を送れるよう、個に応じた教育相談体制を充実させることが重要である。 ・生徒が、自己実現に向けて積極的に学校生活を送るよう、特別活動や学校行事の工夫・改善や地域と連携した取り組みを充実させる必要がある。	・生徒の学校への帰属意識や規範意識を向上させる。 ・社会的な自立に向け、地域などの外部と協力して多様な学びの場を提供する。	・指導や支援が必要な生徒に適切な対応ができる教育相談体制の確立に向け、教職員研修会を充実させる。 ・生徒に充実した学びの場を提供できるよう、地域や保護者への情報発信を積極的に行い地域や学校外の教育力を活用する。	・学校行事や特別活動に参加する生徒は増加しているか。 ・ホームページの更新は定期的に行われているか。 ・地域や学校外の教育力を十分に活用しているか。			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	